

○久留米市地方卸売市場田主丸流通センター条例（抜粋）

令和2年3月30日
久留米市条例第18号

第7章 久留米市地方卸売市場田主丸流通センター運営審議会

（久留米市地方卸売市場田主丸流通センター運営審議会の設置）

第62条 市場の業務の適正かつ健全なる運営に関し必要な事項を調査審議させるため久留米市地方卸売市場田主丸流通センター運営審議会（以下「審議会」という。）を置く。

- 2 審議会は、委員20名以内をもって組織する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任されることができる。
- 5 この条例で定めるもののほか審議会の組織及び運営に関し、必要な事項は規則で定める。

○久留米市地方卸売市場田主丸流通センター条例施行規則（抜粋）

令和2年6月19日
久留米市規則第47号

第7章 久留米市地方卸売市場田主丸流通センター運営審議会

（組織）

第49条 久留米市地方卸売市場田主丸流通センター運営審議会（以下「審議会」という。）に委員長及び副委員長各1人を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選とする。
- 3 委員長は、審議会を総理し、審議会の代表とする。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(委員の任命)

第50条 委員は、次の各号に掲げる者の中から市長が任命する。

- (1) 市議会議員 3人
- (2) 卸売業者 2人
- (3) 出荷者 3人
- (4) 買受人 3人
- (5) 市職員 1人
- (6) 前各号に定めるもののほか、市長が必要と認める者

2 委員は、非常勤とする。

(会議)

第51条 審議会は、委員長が招集し、その会議の議長となる。

(定足数及び表決数)

第52条 審議会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

2 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第53条 審議会の庶務は、田主丸総合支所において処理する。

(補則)

第54条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、委員長が審議会に諮って定める。

＜久留米市地方卸売市場田主丸流通センター＞

1. 概要

久留米市地方卸売市場田主丸流通センターは、卸売市場法（昭和46年法律第35号）に基づき、福岡県知事の認定を受けて久留米市（地方公共団体）が開設している市場で、花木等の取引の適正化とその健全な運営を図ることを目的としています。

- (1) 名称 久留米市地方卸売市場田主丸流通センター
- (2) 所在地 久留米市田主丸町益生田 1134 番地 4
電話番号：0943（72）4070
- (3) 敷地面積 54,198 m²
- (4) 業務開始 昭和 59 年 10 月 1 日
- (5) 開場の状況
- ① 開場の日
毎月 5 日、10 日、15 日、20 日、25 日、30 日及び 3 月 1 日
(年間 70 日)
(ただし、8 月 15 日及び 12 月 30 日は休場)
 - ② 開場の時間
午前 4 時～午後 8 時
 - ③ 販売開始時刻
午前 8 時
 - ④ 販売終了時刻
午後 5 時
- (6) 取扱品目 花木、園芸資材及び果実
- (7) 付属機関 久留米市地方卸売市場田主丸流通センター運営審議会

この審議会は、市場業務の適正かつ健全な運営に関し必要な事項を調査審議するため条例に基づき設置された機関で、市場関係者や学識経験者で構成されています。

○任期 2 年 ○委員数 16 名

2. 施設及び使用料

区分 施設の種類	規模 (m ²)	備考	施設使用料
中小物会場	6,000	鉄骨スレート(2棟)	建物使用料 264円/m ²
鉢物会場	2,608	”(2棟)	建物使用料 580円/m ²
大物会場	7,385	鉄骨枠	土地使用料 178円/m ²
関連店舗	100	鉄骨スレート	建物使用料 765円/m ²
買荷保管積込所	200	”	建物使用料 646円/m ²
管理事務所	825	鉄筋コンクリート	建物使用料 1,029円/m ²
買受人事務所	100	”	建物使用料 1,016円/m ²
食堂	100	”	建物使用料 858円/m ²
便所	52	鉄骨スレート(2箇所) ブロック造(1箇所) RC造(1箇所)	—
空地	7,992	—	土地使用料 178円/m ²

※施設使用料については、1平方メートルあたりの年額

※空地については、使用料対象面積（中小物会場、鉢物会場を除く）

3. 市場関係者一覧（R7.7.1 現在、R6.7.1 比較）

- (1) 開設者 久留米市
- (2) 卸売業者 田主丸町植木農業協同組合 代表理事組合長 古賀博志
- ・出資金 74,348 千円(4,316 千円減少)
 - ・組合員数 1,309 人(39 人減少)
 - ・せり人数 6 人
- (3) 出荷者 登録者数 2,778 名
- (4) 買受人 登録者数 1,193 人(市長の承認を受けた者)

令和7年度 田主丸流通センター施設の管理状況について

1 管理状況と経費について、以下のとおり報告いたします。

※主に長期継続契約

【千円】

業務名	主な業務	委託先	金額(※)
① 田主丸流通センター維持管理業務	施設の維持管理	田主丸町植木農業協同組合	2,013
② 警備業務	夜間巡回・機械警備	第一警備保障(株)	158
③ 電気工作物保安管理業務	電気設備の保守点検	(一財)九州電気保安協会	184
④ 消防設備定期点検業務	消防設備の定期点検	(株)エヌ・ケイ・ワイメンテンス	143
⑤ 監視カメラシステム賃貸借	監視カメラの保守付賃貸	キョウドウシステム(株)	1,584
合計			4,082

(※)決算見込み額

管理についての詳細

①田主丸流通センター維持管理業務

敷地内の植木の消毒や除草、清掃及び簡易な修繕などの施設維持管理業務を委託しています。

②警備業務

門扉の開閉、夜間巡回及び機械警備業務を委託しています。(午前5時：開門、午後8時：閉門施錠)

③電気工作物保安管理業務

電気設備の月次点検、年次点検及び電気関連工事の際の立会、障害発生時の一次対応について業務を委託しています。

④消防設備定期点検業務

消防設備の定期点検及び消防への報告業務について業務を委託しています。

⑤監視カメラシステム賃貸借

出荷物の盗難発生により、平成21年から設置しています。令和3年7月、機器を更新し保守付の賃貸借契約を結んでいます。監視カメラ及び画像記憶装置、LEDセンサーライトなどが主な構成機器となっています。

2 令和7年度 施設使用料の収入見込み状況について、以下のとおり報告いたします。

【千円】

	相手先	使用内容	金額(※)	
1	施設使用料	田主丸町植木農業協同組合	卸売業務	5,988
3	施設使用料	九州電力(株)	電柱	36
4	施設使用料	西日本電信電話(株)	電柱	3
合計			6,027	

(※)決算見込み額

田主丸流通センター施設修繕・改修状況について

1 修繕

No	施設・建物	税抜額 (単位：円)	税込額 (単位：円)	特記事項
1	事務所棟横男子トイレ修繕	180,000	198,000	
2	西側中小物会場水道管水漏れ修繕	90,000	99,000	
3	東西中小物会場南側雨樋・屋根修繕	515,000	566,500	
4	非常警報装置バッテリー交換修繕	25,000	27,500	
5	事務所棟非常口誘導灯修繕	271,525	298,677	
	小計	1,081,525	1,189,677	

2 工事

No	施設・建物	税抜額 (単位：円)	税込額 (単位：円)	特記事項
1	低圧受電化改修工事	20,137,000	22,150,700	
	小計	20,137,000	22,150,700	

修繕・工事合計	21,218,525	23,340,377	
----------------	------------	------------	--

5. 報告事項(3)
【資料5】

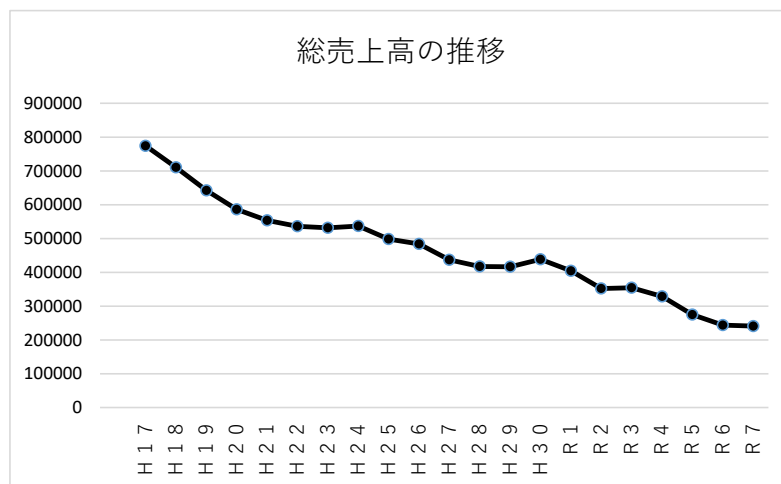
取扱高の推移

《年度別売上高》令和7年度は見込

(単位：千円)

年度	総売上高	前年度比 (%)	内訳					
			大物	中小物	鉢物	資材	注文その他	相対
H17	774,236	99.6	99,393	364,985	264,916	44,942		
H18	710,017	91.7	65,727	346,379	261,521	36,390		
H19	642,312	90.5	47,361	331,019	231,537	32,395		
H20	585,767	91.1	19,529	324,889	208,001	33,348		
H21	553,445	94.5	7,572	309,931	207,354	28,588		
H22	535,889	96.8	10,247	318,053	186,600	20,989		
H23	531,857	99.2	6,433	260,845	174,555	20,429	69,595	
H24	536,520	100.9	4,987	263,686	181,721	24,695	61,431	
H25	498,145	92.9	3,748	227,996	181,466	17,515	67,420	
H26	483,755	97.1	5,597	211,024	175,602	17,530	74,002	
H27	437,096	90.4	4,189	191,007	162,385	11,917	67,598	
H28	417,503	95.5	4,708	157,344	151,450	9,221	94,780	
H29	416,093	99.7	1,301	144,951	141,770	7,939	110,082	10,048
H30	438,233	105.5	2,036	134,383	128,157	7,499	131,886	34,272
R1	404,023	92.2	2,207	109,679	114,861	6,409	133,807	37,060
R2	352,288	87.2	3,029	103,490	102,084	6,406	99,555	37,724
R3	353,963	100.5	3,508	116,124	105,258	9,967	71,551	47,555
R4	328,609	92.8	420	112,260	103,271	4,426	60,991	47,241
R5	274,799	83.6	1,408	100,793	91,465	2,061	43,440	35,632
R6	244,005	88.8	230	83,991	81,816	2,345	48,608	27,015
R7	240,950	98.8	230	87,817	77,002	6,311	38,109	31,481

- ※ 大物・・・大物会場（屋外）で取引される、大型の緑花木
- 中小物・・・中小物会場（屋根付）で取引される、中小の緑花木
- 鉢物・・・シクラメン、バラなどの鉢物
- 資材・・・庭石・灯籠など園芸資材
- 注文・・・買受人より事前に注文を受け、別枠集荷し販売するもの
- 相対・・・事前に出荷者が相対金額を設定し、買受人に販売するもの。



田主丸流通センター 取扱高の状況について(R4~R8.3)

■令和4年度 部門別売上 実績 <植木農協資料>

	総売上高	大物	中小物	鉢物	資材	注文	苗物	相対	前年比 (R3対比)	出荷者	買受者
4月	41,627,790	120,000	13,440,800	14,984,600	1,800	5,303,790	522,100	7,254,700	103.0%	1,261	784
5月	14,374,182	0	2,581,782	8,241,700	900	1,783,500	0	1,766,300	91.8%	705	467
6月	7,753,010	0	968,400	4,395,800	64,600	1,663,110	0	661,100	92.8%	410	281
7月	5,976,060	0	330,000	1,966,400	1,973,000	1,579,760	0	126,900	98.6%	233	177
8月	1,789,310	0	17,000	718,600	5,400	1,009,710	0	38,600	37.1%	135	100
9月	9,898,980	0	1,173,900	4,363,300	1,310,000	2,294,680	0	757,100	76.1%	408	280
10月	35,283,018	0	9,164,500	13,313,250	123,628	6,479,940	0	6,201,700	107.3%	1,084	660
11月	42,696,470	300,000	14,564,600	12,151,700	82,900	9,889,170	0	5,708,100	88.5%	1,289	708
12月	22,533,925	0	8,019,200	7,079,550	61,000	5,496,575	0	1,877,600	85.9%	720	524
1月	34,278,464	0	13,328,364	8,409,100	33,100	6,728,200	0	5,779,700	82.3%	893	575
2月	49,306,510	0	22,690,700	9,863,300	666,500	7,318,460	1,720,000	7,047,550	100.6%	1,189	676
3月	63,091,290	0	25,980,500	17,783,800	102,700	6,083,490	3,119,500	10,021,300	93.3%	1,672	943
合計	328,609,009	420,000	112,259,746	103,271,100	4,425,528	55,630,385	5,361,600	47,240,650		9,999	6,175
前年比	92.8%	12.0%	96.7%	98.1%	44.4%	84.0%	100.1%	99.3%			
売上構成比	100.0%	0.1%	34.2%	31.4%	1.3%	16.9%	1.6%	14.4%			

■令和5年度 部門別売上 実績 <植木農協資料>

	総売上高	大物	中小物	鉢物	資材	注文	苗物	相対	前年比 (R4対比)	出荷者	買受者
4月	33,057,410	0	11,638,900	13,243,800	900	2,713,410	214,600	5,245,800	79.4%	1,179	717
5月	15,076,413	1,027,273	2,320,890	8,825,400	0	1,549,950	0	1,352,900	104.9%	622	410
6月	7,440,790	250,000	1,015,300	4,906,400	0	1,012,890	0	256,200	96.0%	376	243
7月	833,740	0	161,500	464,200	0	191,740	0	16,300	14.0%	44	35
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
9月	7,728,420	0	1,115,200	3,562,900	615,000	1,577,720	0	857,600	78.1%	379	255
10月	30,901,390	0	9,478,900	11,596,000	430,000	4,434,290	0	4,962,200	87.6%	964	582
11月	37,017,480	20,000	13,400,700	11,935,000	94,000	6,628,080	0	4,939,700	86.7%	1,149	662
12月	21,286,026	20,000	6,236,300	6,064,100	455,546	7,041,180	0	1,468,900	94.5%	675	496
1月	35,334,620	0	15,496,000	9,271,300	431,500	5,312,420	0	4,823,400	103.1%	970	587
2月	36,469,170	90,910	18,033,600	8,332,500	2,000	3,864,860	1,414,100	4,731,200	74.0%	1,037	609
3月	49,653,151	0	21,895,746	13,262,900	32,000	5,466,995	2,017,500	6,978,010	78.7%	1,477	895
合計	274,798,610	1,408,183	100,793,036	91,464,500	2,060,946	39,793,535	3,646,200	35,632,210		8,872	5,491
前年比	83.6%	335.3%	89.8%	88.6%	46.6%	71.5%	68.0%	75.4%			
売上構成比	100.0%	0.5%	36.7%	33.3%	0.7%	14.5%	1.3%	13.0%			

■令和6年度 部門別売上 実績 <植木農協資料>

	総売上高	大物	中小物	鉢物	資材	注文	苗物	相対	前年比 (R5対比)	出荷者	買受者
4月	31,073,315	0	9,953,700	12,487,240	120,000	4,004,475	257,000	4,250,900	94.0%	1,194	672
5月	11,720,790	0	2,039,200	6,517,050	0	2,245,640	1,000	917,900	77.7%	608	367
6月	5,335,250	0	567,500	3,406,900	0	1,269,050	0	91,800	71.7%	330	200
7月	3,161,630	0	0	1,129,600	816,000	1,186,030	0	30,000	379.2%	187	117
8月	882,070	0	0	279,000	0	603,070	0	0	0.0%	71	55
9月	5,481,810	0	1,012,200	2,383,800	3,000	1,732,410	0	350,400	70.9%	291	209
10月	24,809,860	0	7,184,100	9,521,300	70,000	4,649,660	0	3,384,800	80.3%	820	498
11月	32,410,423	0	12,326,573	11,172,200	15,000	5,899,250	0	2,997,400	87.6%	1,102	548
12月	21,023,300	60,000	6,160,700	8,138,500	150,000	4,962,400	0	1,551,700	98.8%	652	490
1月	28,517,408	0	12,617,000	7,877,800	0	4,374,708	0	3,647,900	80.7%	822	491
2月	34,394,688	170,000	14,230,300	7,553,000	0	7,938,138	806,700	3,696,550	94.3%	906	484
3月	45,194,570	0	17,900,300	11,349,640	1,170,500	6,358,630	2,319,700	6,095,800	91.0%	1,342	724
合計	244,005,114	230,000	83,991,573	81,816,030	2,344,500	45,223,461	3,384,400	27,015,150		8,325	4,855
前年比	88.8%	16.3%	83.3%	89.5%	113.8%	113.6%	92.8%	75.8%			
売上構成比	100.0%	0.1%	34.4%	33.5%	1.0%	18.5%	1.4%	11.1%			

■令和7年度 部門別売上 実績 《植木農協資料》

	総売上高	大物	中小物	鉢物	資材	注文	苗物	相対	前年比 (R6対比)	出荷者	買受者
4月	33,275,095	0	11,078,600	11,161,100	591,100	4,013,095	528,600	5,902,600	107.1%	1,123	658
5月	13,044,357	20,000	2,112,800	6,608,000	1,363,637	1,567,620	0	1,372,300	111.3%	556	328
6月	5,045,690	0	638,500	3,205,700	2,200	930,990	0	268,300	94.6%	299	178
7月	3,542,080	0	272,500	1,414,500	1,092,200	747,380	0	15,500	112.0%	173	108
8月	1,412,210	0	0	397,900	60,000	949,310	0	5,000	160.1%	103	75
9月	6,287,750	0	1,391,800	2,906,400	0	1,257,150	0	732,400	114.7%	292	230
10月	25,509,268	0	7,319,000	9,098,900	2,729,473	2,912,495	0	3,449,400	102.8%	762	459
11月	28,847,870	0	12,117,300	9,619,200	3,300	3,776,170	0	3,331,900	89.0%	985	503
12月	20,479,840	0	6,431,700	6,680,800	5,500	5,382,040	0	1,979,800	97.4%	609	416
1月	31,436,100	0	13,705,200	8,506,900	204,000	4,817,600	0	4,202,400	110.2%	851	503
2月	32,361,530	0	15,935,700	6,147,300	195,000	4,489,990	735,800	4,857,740	94.1%	960	519
3月	39,708,420	210,000	16,814,100	11,255,200	65,000	4,092,520	1,908,100	5,363,500	87.9%	1293	800
合計	240,950,210	230,000	87,817,200	77,001,900	6,311,410	34,936,360	3,172,500	31,480,840	98.75%	8,006	4,777
前年比	98.7%	100.0%	104.6%	94.1%	269.2%	77.3%	93.7%	116.5%			
売上構成比	100.0%	0.1%	36.4%	32.0%	2.6%	14.5%	1.3%	13.1%			

販売戦略検討会の提言を受けての取組状況について

令和6年度の販売戦略検討会の提言を受けて、令和7年度に市と田主丸町植木農業協同組合で3回にわたり協議を行いました。その概要は下記のとおりです。

提言1 地域生産者の在庫状況の把握	
植木農協	令和6年9月より、樹芸組合連合会の下部組織であるみどりを考える会から在庫表をもらうようにした。在庫表をホームページに掲載しているので問合せは来たが、それが注文にはつながったことはない。
市	その後の効果を検証し、取り組みに工夫を加えてはいかがか。
提言2 商社、量販店舗等への個別営業（新規買受人の誘致）	
植木農協	検討はした。思い当たるところはすべて買受人登録している。役員が鹿児島島の業者に視察に行った際に営業をした。
市	引き続き情報収集を進めてはいかがか。
提言3 売れ筋の商品の斡旋及び価格上昇の合意形成、注文販売に力を入れる（人材確保）	
植木農協	価格の合意形成についてはセリ人が努力しているのは見て取れるが高く売るのは難しい。他の市場の方が安いという声も生産者からよく聞くが、買受人の売り先がなくなっているのが大きな要因ではないかと分析している。 人員の確保については、現在ハローワーク等で募集している。
市	生鮮食料品の価格の合意形成については、卸売市場法等が改正される。植木についてもこれにならうべきところがないか検討してはいかがか。
提言4 販促ツールの再構成（カレンダー等の変更）	
植木農協	誕生日の木を載せてそれを植木まつりで配布する等の検討は行った。今のカレンダーは製作元に版があり、毎年同じものを作っているため印刷代がかなり安い。新たにデザイン等する内容で見積りを取ったが、新規の製版もあり、価格が高くて予算上できないという話になった。カレンダーの工夫は1枚ものにする、ネット印刷の見積を取る、その他相当考えたができなかった。
市	他の販促ツールも考えてみてはいかがか。

提言5 対前年比（月別）80%以下の月の要因分析	
植木農協	月別の分析はしていないが全体的な分析はしている。R5の水害で生産をやめてしまった人を数多く見てきた。後継者がいないという話もよく聞くし、ここ2年で生産をやめていく人も数多く見た。R5に売り上げが急減して戻らない理由がそういうところにある、要因としては一番大きいのではないか。直接取引に変わっていく話もよく聞く。売り先がないという買受人の話もよく聞く。生産者もいない、買受も減っていく状況では手の打ちようがない。
市	やめていく生産者もある中で、拡大意向の生産者がいないかを含めての情報収集も必要ではないか。エンドユーザーの開拓にも、一定市場自体の取り組みが必要と思われる。
提言6 ホームページ等での積極的PR	
植木農協	ホームページを見て来場したという未登録の買受人が多くいる。インスタも検討したが、インスタは誰でも見られるので、問い合わせだけが増えそう。一般の方の市場での取引はできないので問合せだけ増えて、対応に人を割くのはどうかと思われる。問合せ対応で業務を圧迫されそうなのでやめた。
市	インスタグラムは市場の情報発信ではなく、植木産業のPRとして関連団体と協力してみたいかがか。
提言7 植木販売協会との連携強化	
植木農協	植木まつりでカレンダーを配ってPRすることも考えたが、今のカレンダーの内容ではPRには弱い。そもそも増刷できないので断念した。
市	植木販売協会と連携しての情報発信を検討されてはどうか。チラシ等の物品はお金がかかるかもしれないが、インスタグラムの活用等、費用がかからない方法もあるのではないか。
提言8 買受人へのダイレクトメール	
植木農協	以前はハガキのみだったが、LINE、メールで買受人へ情報提供を始めた。ハガキよりも多くの情報量を出せる。問合せもあり、写真をLINEで個別に送付したりもしている。写真の要望が多いのですべてには応えられない状況。登録者はLINE180名、メール10名、ハガキ270名程度。買受人の希望に応じてツールを使い分けている。ハガキは人手や経費の都合上、大市の案内のみ。
市	効果の検証を行って、さらなる有効活用を検討してはいかがか。

提言 9 出荷者への生産要請（特に売れ筋品目・希少品目）	
植木農協	要請しても出荷は1～2年後になるため、先を読まなければならない。要請すると、売れなかったときの責任がある。生産要請となると難しいと思うが、年間、月間の売上ランキングをチラシで配ったり、掲示場に貼り出したりしている。チラシは持っていく人が多いので出荷の参考にされているのだと思う。
市	売上ランキングは情報発信のやり方を工夫してみてはいかがか。トレンドの研究等も必要ではないか。
提言 10 季節商材（盆・正月）の特売	
植木農協	盆は夏場なので出荷がない。正月の松竹梅は現在生産者1人。コーナーを作る意味がない。
市	松竹梅は市中では出回っていると聞いている。生産者へのPRも必要ではないか。
提言 11 季節商材（桜・果樹苗・つつじ・その他）の特売	
植木農協	特売の意味のとらえ方にもよると思うが、果樹苗はコーナーを設けて集中的に売る工夫をしている。その他もコーナーを設ける検討をしたが、生産者がそれぞれ置く場所を工夫して売り上げを上げているので、こちらでこの場所だと指定するのはリスクが高い。
市	コーナーを設ける以外に何か方策を検討してみてはいかがか。
提言 12 インターネット販売	
植木農協	コンサルティング会社の見積を受けて検討はした。売れ残りを在庫として抱えなければならなくなるのでリスクが高い。耐えきれないと思う。商品を取りに来てもらうのが前提なので、輸送の問題もある。イニシャルコストを回収できるかの見通しも立たない。運用を始めたとしても写真を撮ったり、ウェブに上げたり、売り上げの集計や支払いの確認など、人員面でも困難。
市	外注でのシステム構築、運用を検討することなどを提案。他での事例も探して研究し、コストと比較して具体的な検討をしてみたいかがか。
その他 資材の売上が上がっているようだが要因分析は行ったか	
植木農協	資材の展示場所を工夫したところ、売り上げが上がっていると思われる。検討会で提言された工夫、取り組みについては人員不足もあり、具体的な行動に移すことが難しい。
市	経営が危機的であることの認識が一致していることは度々確認してきた。

市	<p>小さなことからでも行動に移し、検証を繰り返すことでPDCAサイクルが回る。</p> <p>できない理由を検討するだけでなく、やったことの検証と工夫、小さなことでも何ができるか、費用がかからない方法がないかをさらに検討していくことが必要ではないか。</p>
---	--